



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月4日

上場会社名 株式会社ソリトンシステムズ 上場取引所 東  
 コード番号 3040 URL https://www.soliton.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 信夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 三須 貴夫 (TEL) 03-5360-3801  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	11,839	△0.0	1,293	80.9	1,328	109.6	1,085	188.3
2019年12月期第3四半期	11,842	9.8	714	21.3	634	20.5	376	899.4

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,026百万円 (110.4%) 2019年12月期第3四半期 488百万円 (828.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	57.25	—
2019年12月期第3四半期	19.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	15,326	7,377	48.0	388.27
2019年12月期	14,051	6,543	46.4	344.21

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 7,361百万円 2019年12月期 6,525百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2020年12月期	—	5.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	2.9	1,500	38.7	1,500	42.7	1,200	81.7	63.29

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	19,738,888株	2019年12月期	19,738,888株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	779,663株	2019年12月期	779,628株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	18,959,255株	2019年12月期3Q	18,959,260株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

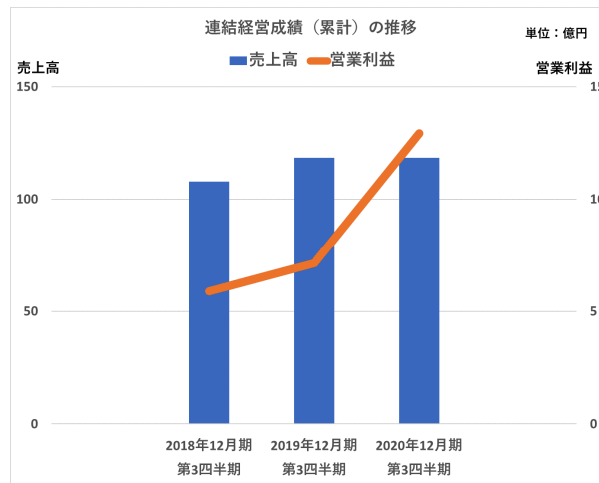
1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、国内は、経済活動が徐々に再開され、政府による消費刺激策により緩やかな回復の兆しはあるものの、新型コロナウイルスの再拡大の懸念もあり景気の先行きは不透明な状況が続いております。海外は、米国、欧州等で感染の拡大が続いており、経済活動が抑制され、極めて厳しい状況にあります。

遠隔/非接触を前提とした新しい働き方がニューノーマルになり、デジタル変革「DX(デジタルトランスフォーメーション)」の推進が企業のみならず自治体においても喫緊の課題として浮き彫りになってきました。その策の一つとして、クラウドサービスが注目されています。クラウドサービスでは顧客の声をもとに絶え間なく刷新が可能で、ユーザーにとって取組みし易いメリットもあり、当社の主力製品は急ぎこのトレンドに合わせています。また、日本中の小中学校にPCが配布され、ネットワークが導入される「GIGAスクール構想」の予算執行が当第3四半期より本格化しました。この波にも乗っています。

このような環境下、当社グループの業績について、売上高は11,839百万円(前年同期比0.0%減)となり、営業利益は1,293百万円(前年同期比80.9%増)、経常利益は1,328百万円(前年同期比109.6%増)となりました。また、Soliton Systems Development Center Europe A/S(所在地:デンマーク)等の解散と清算を決議したことに伴い(詳細は、2020年8月27日付開示「子会社等の解散および清算に関するお知らせ」をご覧ください)、ソフトウェア除却損189百万円と関係会社整理損失引当金繰入額88百万円を計上しましたが、過年度に計上済みの貸倒引当金に対し、繰延税金資産が計上されたこと等により法人税等調整額△406百万円が生じ、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,085百万円(前年同期比188.3%増)となりました。



セグメント別の経営成績は、次のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間より「エコ・デバイス事業」について、「Eco 新規事業開発」に名称を変更いたしました。

① ITセキュリティ事業

売上高は11,123百万円(前年同期比0.6%増)、セグメント利益は2,018百万円(前年同期比39.1%増)となりました。

自社製品/サービスの販売に注力した結果、セグメント利益が増益となりました。セキュアなテレワークを実現する「Soliton SecureDesktop」(以下、「SSD」)などの売上が前期比で大幅増収となりました。民間部門から公共部門まで需要が顕在化しており、SSD関連は当社の主クラウドサービスに変貌いたしました。前述の「GIGAスクール構想」では、校内ネットワークに安定と安全を確保する「NetAttest EPS」や「NetAttest D3」、有害サイトへのアクセスを防止する「Soliton DNS Guard」の採用が全国の多くの地域で進みました。

② 映像コミュニケーション事業

売上高は629百万円(前年同期比8.7%減)、セグメント利益は9百万円(前年同期はセグメント損失7百万円)となりました。

東京オリンピック・パラリンピックが延期となった影響もあり、売上は減収となりましたが、国内のパブリックセーフティ分野(防災、治安、危機管理)での販売を推進し、セグメント利益は黒字となりました。超短遅延映像伝送を実現する新製品「Smart-telecaster Zao-SH」は、モビリティ分野、医療分野、重機/農機の遠隔操作等へのマーケティング活動に注力いたしました。世界で続々と5Gの通信サービスがスタートされ、日本のみならず欧州/米国での展開も視野に入れております。

③ Eco 新規事業開発

売上高は86百万円(前年同期比11.5%減)、セグメント損失は186百万円(前年同期はセグメント損失162百万円)となりました。

当事業グループは、当社内の他事業部の新規商品の基礎技術の開発を主に担っております。その他、人感センサーの開発/販売などによる収入を売上として計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の当社グループの総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1,274百万円増加し、15,326百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて440百万円増加し、11,823百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が327百万円、現金及び預金が295百万円増加した一方、商品及び製品が161百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて833百万円増加し、3,502百万円となりました。これは主に有形固定資産が409百万円、繰延税金資産が366百万円、ソフトウェア仮勘定が326百万円増加した一方、ソフトウェアが191百万円減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて695百万円増加し、7,673百万円となりました。これは主に前受収益が524百万円、未払法人税等が165百万円、支払手形及び買掛金が86百万円増加した一方、賞与引当金が111百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて255百万円減少し、274百万円となりました。これは主に長期未払金が151百万円増加した一方、退職給付に係る負債が362百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産の部については、前連結会計年度末に比べて833百万円増加し、7,377百万円となりました。これは主に、利益剰余金が892百万円増加した一方、為替換算調整勘定が66百万円減少したことによるものであります。

なお自己資本比率は48.0%(前連結会計年度末比1.6ポイント増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期通期(2020年1月1日~12月31日)の連結業績予想を修正しております。詳細については、本日(2020年11月4日)公表いたしました「業績予想の修正等と配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,913	7,209
受取手形及び売掛金	1,972	2,300
電子記録債権	464	450
リース投資資産	66	62
商品及び製品	782	621
仕掛品	110	60
原材料及び貯蔵品	104	116
前払費用	936	996
その他	85	54
貸倒引当金	△54	△49
流動資産合計	11,382	11,823
固定資産		
有形固定資産	878	1,287
無形固定資産		
ソフトウェア	413	222
ソフトウェア仮勘定	67	394
その他	14	14
無形固定資産合計	495	631
投資その他の資産		
投資有価証券	220	212
差入保証金	547	517
繰延税金資産	331	698
その他	201	159
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	1,295	1,583
固定資産合計	2,669	3,502
資産合計	14,051	15,326

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	836	922
短期借入金	286	191
リース債務	27	24
未払金	480	600
未払法人税等	124	290
前受収益	4,263	4,788
賞与引当金	352	241
関係会社整理損失引当金	—	88
その他	606	525
流動負債合計	6,977	7,673
固定負債		
長期借入金	125	50
リース債務	43	40
長期未払金	—	151
退職給付に係る負債	362	—
その他	—	33
固定負債合計	530	274
負債合計	7,508	7,948
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,326	1,326
資本剰余金	1,401	1,401
利益剰余金	4,128	5,021
自己株式	△514	△515
株主資本合計	6,341	7,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	7
為替換算調整勘定	185	119
退職給付に係る調整累計額	△14	—
その他の包括利益累計額合計	184	127
非支配株主持分	18	16
純資産合計	6,543	7,377
負債純資産合計	14,051	15,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	11,842	11,839
売上原価	6,868	6,343
売上総利益	4,973	5,496
販売費及び一般管理費	4,258	4,202
営業利益	714	1,293
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	12
為替差益	-	14
受取補償金	4	13
助成金収入	2	2
貸倒引当金戻入額	18	-
その他	1	1
営業外収益合計	27	44
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	91	-
持分法による投資損失	13	-
固定資産除却損	1	0
支払手数料	-	4
その他	0	2
営業外費用合計	108	8
経常利益	634	1,328
特別利益		
退職給付制度終了益	-	2
特別利益合計	-	2
特別損失		
投資有価証券評価損	3	1
関係会社株式売却損	6	-
ソフトウェア除却損	-	189
関係会社整理損失引当金繰入額	-	88
特別損失合計	10	280
税金等調整前四半期純利益	623	1,051
法人税、住民税及び事業税	115	373
法人税等調整額	131	△406
法人税等合計	246	△32
四半期純利益	376	1,084
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	376	1,085



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	376	1,084
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△6
為替換算調整勘定	108	△66
退職給付に係る調整額	3	14
持分法適用会社に対する持分相当額	0	-
その他の包括利益合計	111	△58
四半期包括利益	488	1,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	488	1,028
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社は、2020年1月2日付で確定拠出年金制度ならびに退職一時金制度から確定拠出年金制度へ移行いたしました。この移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 平成28年12月16日改正)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号 平成19年2月7日改正)を適用しております。

本移行に伴い、当第3四半期連結累計期間の特別利益として2百万円を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	ITセキュリティ	映像コミュニケーション	Eco 新規事業開発	
売上高				
外部顧客への売上高	11,054	689	97	11,842
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	17	-	21
計	11,058	707	97	11,863
セグメント利益又は損失 (△)	1,451	△7	△162	1,281

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,281
全社費用(注)	△566
四半期連結損益計算書の営業利益	714

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	I Tセキュリティ	映像コミュニケーション	Eco 新規事業開発	
売上高				
外部顧客への売上高	11,123	629	86	11,839
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	3	14	28
計	11,134	633	100	11,868
セグメント利益又は損失 (△)	2,018	9	△186	1,841

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、従来「エコ・デバイス事業」としていた報告セグメントの名称を「Eco 新規事業開発」へ変更しております。従来の部品の開発/販売からシステムの開発/提供に事業の軸足を移しているためであります。報告セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の名称で表示しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,841
全社費用(注)	△548
四半期連結損益計算書の営業利益	1,293

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。